

郡上農林事務所の普及活動状況

令和3年6月27日現在

今月の重点活動

■スマート農業 花きハウスに環境モニタリング機器を設置

高鷲地域にてユリやトルコギキョウなど切り花の生産を行う「ひるがのフラワーサークル」は、県の「農業DX化実証農場設置事業」を活用し、今年度からスマート農業機器による栽培技術の向上に取り組む。

6月21日には、生産者が集まって各々のハウスに環境モニタリング機器を設置した。今回導入する装置は、ハウス内の温湿度や日射量、土壌水分量を計測するもので、データをスマートフォンでリアルタイムに確認し、生産者間で共有することもできる。

農業普及課では、得られたデータをもとに近年の夏季高温によって多発している生理障害への対策だけでなく、農家間の情報交換の活発化などの支援を行う。



【ハウスに機器を設置】

ぎふ農業・農村を支える人材育成

■就農支援 「郡上トマトの学校」現地説明会を開催

6月26日土曜日、JAめぐみのが運営する就農研修施設「郡上トマトの学校」の令和3年度第1回現地説明会が、白鳥町にある同施設で開催され、農業普及課も説明者として出席した。

今回は2組3名が参加し、いずれも郡上市外の住民であった。このため、研修概要などに加え、郡上市に移住する際の助成制度なども市担当者から説明を行った。

研修会場では、トマトの栽培方法や作業について説明を受け、最後に就農後のイメージをつかむために、市内の卒業生の就農ハウスを見て回り終了した。

今後は応募者に対して、実際に作業を行う短期研修への参加を促しつつ、7月には第2回の説明会も予定していることから、農業普及課では引き続き関係機関と連携し、研修生の確保に取り組む。



【作業説明を聞く応募者】

ぎふ農畜水産物のブランド展開

■大麦 高品質・安定生産を目指した新品種「ファイバースノウ」

5月28日～6月16日にかけて、市内の大麦収穫が行われた。管内の大麦は、土地利用型経営体の経営補完品目として、郡上市南部の美並町から八幡町、明宝地域にかけて40haほど栽培されているが、標高差があることから収穫期間が長くなる傾向がある。

その点も含め、現在栽培している品種「ミノリムギ」には収量や品質面で課題があり、農業普及課ではJAめぐみと連携し、2年前より新たな品種「ファイバースノウ」の実証ほを美並町内に設置し、各種調査を行ってきた。

新品種「ファイバースノウ」は、これまでの調査結果で現行品種と同等以上の収量・品質が確認された。

次期作では、さらに実証規模を拡大する計画で、農業普及課では本格導入に向けて、生育調査や品質分析などの支援に取り組む。



【実証ほの収穫前の様子】

■夏秋トマト 技術研究部会によるハウス巡回

夏秋トマト部会の若手を中心に組織された技術研究部会では、技術的な課題を解決するため、農業普及課やJA担当者とともに定期的に部会員のハウスを巡回し、現場での意見交換を行っている。

6月のハウス巡回では、「郡上トマトの学校」で実施した小口径ポットによる育苗及び定植作業の省力化及び、栽培面積の拡大に伴う効率的な作業の進め方をテーマに意見交換を行った。

小口径ポットは省力化が可能となるものの育苗管理が難しくなる点や、面積拡大に伴い栽培管理を効率的に行うためハウス周りに防草シートを敷いて除草作業を省力化すると良いなどの意見が、技術部会員やトマトの学校研修生の間で交わされた。

農業普及課では、技術研究部会の取り組みを支援することで、若手部会員の技術向上だけでなく、産地全体の生産性の向上を進める。



【ハウスを巡回し、
テーマごとに意見交換】

安心して身近な「ぎふの食」づくり

■夏だいこん 出荷目揃え会にて技術研修を実施

6月24日に「ひるがの高原だいこん生産出荷組合」の目揃え会が開催され、農業普及課が技術研修を行った。

研修では、だいこんの品質低下への影響が大きいキスジノミハムシ対策として、その生態並びに薬剤防除のタイミングや間隔について事例を交えて説明を行った。

また、昨年度導入したスマート農業機器の畑地センサーから得られたデータと降水量を比較して、降雨が土壌水分の変化に与える影響の調査結果や、経営上の問題の原因をいかに分析しどのように具体的な対策を検討すべきかなどの情報を提供した。

農業普及課では、今後も高品質なだいこんの安定生産と、個々の経営体の経営改善に向けて支援を継続する。



【目揃え会での技術研修】

中山間地域を守り育てる対策

■女性農業経営アドバイザー 今年度の活動計画を協議

6月11日、今年度の女性農業経営アドバイザー郡上地区の活動計画を協議するため、第1回全体会議が開催された。

会議では、昨年度に引き続き新型コロナウイルスに留意したうえで、どのように地区活動を進めるか意見交換が行われた。

結果、これまで6回実施している郡上市農業女子会については、今年も継続し、10月に開催する方向で準備を進めることとなった。

農業普及課では、新たに策定された「ぎふ農業・農村男女共同参画プラン」を踏まえ、地域における女性の活躍を支援する。



【全体会議で計画を協議】

■農業振興 郡上市農業振興協議会の総会開催

6月25日、農業者代表、郡上市、郡上市農業員会、JAめぐみので組織する「郡上市農業振興協議会」の令和3年度総会が開催された。

当協議会は、地域の特性を活かし安定した農業経営の確立や生産技術の向上、各団体の活動強化等を目指し、農業普及課が進める「協同農業普及事業」と連携して各種事業に取り組んでいる。

総会当日は、会長である日置郡上市長が議長となって議事が進められ、関係機関による営農連絡会議の開催など普及事業活動に関する議案を含め、令和3年度事業計画等が承認された。

総会終了後、農業振興課から「ぎふ農業・農村基本計画」の解説、農業普及課から昨年度の普及活動成果を報告し、出席した会員との意見交換を実施した。